

返済不要の給付型奨学金の実現、安心して借りられる奨学金を ——緊急国会情勢報告・懇談会——

文部科学省が 2012 年度予算の概算要求に学生、大学院生むけの給付制奨学金制度の創設をはじめて掲げました。学生や大学院生、教職員、父母などから歓迎と実現を求める声広がる一方、財務省などは「受益者負担が原則。モラルハザードとなる」との理由をあげ、創設が危ぶまれる状況にもあります。

そこで、青年・学生、教育関係者、父母のみなさんに緊急に状況をお伝えし、懇談する機会を持つことにしました。給付制奨学金の実現のみならず、貸与制奨学金のもと、雇用状況の悪化などにより、返還したくてもできない方も多数となっています。一定の所得になるまで返済猶予にする制度の拡充なども必要です。そうした問題についても意見交換をいたします。ぜひご参加ください。

日時：2011年12月14日（水） 午後5～7時

主催：日本共産党 国会議員団

会場：衆議院第一議員会館 第5会議室

（東京都千代田区永田町2-2-1）

- ・ 会館ロビーにて、通行証をお渡しします。

プログラム

- ▽ 主催者挨拶
- ▽ 給付制奨学金の実現を求める団体の方からの発言
- ▽ 文部科学省の担当者からの報告（要請中）
- ▽ 宮本岳志衆議院議員からの報告
- ▽ 会場のみなさんからの発言・討論

お問い合わせ先：衆議院議員 宮本岳志事務所 電話 03-3508-7194

Fax 03-3508-3624

e-mail h12171@shugin.go.jp